

10・21法大&国会デモへ!

2014年10月19日
No.238

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

集会圧殺体制をうち破り、 10・16沖大反戦集会を貫徹!

【報告】沖縄大学学生自治会

「大学の戦争協力許さない! 処分撤回! 辺野古基地建設止めよう10・16沖大学生集会」は、当局・権力の妨害をはねのけて昼休みキャンパス中央で打ち抜かれ、多くの沖大生の注目を集めて大成功しました。

集会には法大文化連盟委員長・武田雄飛丸君が来てくれました。集会は、武田君がキャンパス展開に加わった10月14日からの激しい攻防を経てかちとられました。14日朝、自治会がビラをまいた教室に職員が突如として現れ、学生の目の前でビラを回収し始めました。これに対して赤嶺君、武田君が徹底弾劾。昼休み、キャンパス中庭での情宣を決行し、沖大生に集会結集を呼びかけました。すると大学当局は「(集会は)申請書の不備により、施設使用の許可を出せていませ

ん。…企画者へは、無許可のまま実施をしないよう、ここに警告いたします」なる恫喝文書を作成して掲示。翌朝、クラス討論の場にも職員が現れ、抗議する赤嶺君たちをついに警察に通報しました。沖縄県警はパトカー3台で現れて結局何もできずに帰ったものの、沖

大当局の暴挙に怒りは一気に高まりました。

そして16日当日。「危険な団体が昼休みに集会をやるから気をつけろ」と授業で恫喝された学生が「負けずに頑張っ!」と激励を飛ばす中、赤嶺委員長、盛島副委員長、武田君らが全学生の怒りを背負ってキャンパスに登場。ビデオを片手に「学外者は出て行って」と妨害する職員たちをはねのけ、ついに中庭登場をかちとりました。

マイクを握った赤嶺委員長は冒頭、安倍政権によるイラク・シ



赤嶺委員長(中央)、盛島副委員長(右)、武田雄飛丸君(左)

【10/21国際反戦デー闘争】

10月21日(火) 13時半～ 法政大学包囲デモ

15時半～ 国会デモ ※JR新橋駅・SL広場集合

18時半～ 渋谷デモ ※代々木公園・ケヤキ並木集合



～イラク・シリア空爆弾劾! 「大学の戦争協力」阻止! 安倍打倒!～



リア戦争参戦や辺野古基地建設、経済的徴兵制の導入を弾劾。そして、「こういった時代のなかで戦争反対のビラもまけない。そんな大学でいいのか！ 反戦ビラを回収した職員は『ルールだから』の一点張り。本当にふざけている。ビラがまけないで戦争がとめられるのかと聞くと『他にも方法がある。自分で考えろ』。本当に無責任です。僕たち若者が戦争に行かされようとしている時代、平然とへらへら笑って戦争反対の声をつぶす。こんなふざけた大学のあり方を絶対に変えよう！」と怒りをこめて訴えました。武田君も、「沖大当局が言っている『学外者』『危険団体』というのがいかに薄っぺらいか。どれだけ仲地が『戦争反対、基地反対』と言ったって、実際に学生がビラまき一つできない、集会一つできない状況で戦争が止められるわけがない。沖大の教授は『沖大の学費は高く



盛島副委員長のアジテーション！

ない、他にも高いところはある』と言うが、こうやって『経済的徴兵制』が進められている。こういった状況を変えるためにもキャンパスでの闘いが必要です。当局は集会を許可せず、そのことをもって主催の沖大自治会への追加処分を狙っています。学友への処分を絶対に阻止し、腐った大学を変えていこう！」と力強く呼びかけました。

職員たちは遠くで凍りついたまま弾圧に出てこられず、「無許可の集会的行為をやめろ」という看板(左写真)を校舎に吊るすのがやっと。キャンパスは解放的な空気に包まれ、多くの沖大生が校舎の窓から顔を出して訴えを聞いていました。さらには、中庭の芝生に座って自治会の訴えを聞く学生、遠くから手を振る学生、合いの手を入れてくれる学生が続々と現れ、恫喝・分断を完全に打ち破る集会がかちとられました。夕方集会も、昼集会から新たな学生の参加があり、自治会の強化拡大に向けて大いに盛り上がりました。

いくら授業等で平和、基地反対を語ろうと、「ルール」「手続きの不備」と学生の集会を弾圧する仲地学長は、「法に則って粛々と進める」と闘いを弾圧し、基地建設や戦争を進める安倍政権と同じです。

全沖大生が自治会のもとに団結し、安倍と仲地を串刺しにしてうち倒す中に大学を取り戻し、戦争・基地建設を止める力があります。10・16の地平から10・21国際反戦デー闘争、11・2労働者集会へ！

赤嶺委員長への追加処分を許さず、不当な処分と規則をぜんぶ撤回させよう！

【当面する行動方針】

●11・2全国労働者総決起集会

- ◆世界の労働者と団結し、戦争と民営化の道を許すな！ ◆今こそ闘う労働組合を全国の職場に！
- ◆国鉄1047名解雇撤回・JR外注化阻止！ ◆集団的自衛権行使一改憲と戦争の安倍政権打倒！
- ◆福島を先頭に全原発廃炉へ！

11月2日(日) 正午～ 東京・日比谷野外音楽堂にて

【呼びかけ】全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部／全国金属機械労働組合港合同／国鉄千葉動力車労働組合

●武田雄飛丸君「無期停学処分」撤回裁判・第7回弁論

11月5日(水) 13時半～ 東京地裁705号法廷にて

●武田雄飛丸君「暴行」でっち上げ裁判・第3回公判

11月7日(金) 13時半～ 東京地裁429号法廷にて

※傍聴券配布のため、13時までに裁判所入口脇に集合してください。

